

種名 ニジマス

元々は北アメリカ大陸の太平洋側やカムチャッカ半島に生息しており、1877年（明治10年）に初めて日本にやってきたサケ科の魚です。今では日本全国で食用や釣り堀用に養殖されています。大きさは普通40cm程度ですが、中には1m以上に成長するものもいます。大きくなると、体の側面に赤い、もしくはピンクの帯が見られるようになります。

近年は日本各地で養殖されたニジマスのブランド化が盛んに行われており、八幡平市にも「八幡平サーモン」という名前のニジマスがいます。ちなみに、皆さんがスーパー等でよく見かける「トラウトサーモン（もしくはサーモントラウト）」は、海で養殖されたニジマスのことを指します。

展示しているのは、昨年の12月に岩手県内水面水産技術センターで採卵し、育てたニジマスです。